

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
なお、合否結果は、2025 年 2 月に発表し、本人に通知いたします。

2024年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

- 問 1. ハウスクリーニングの基本 5 機能とは、「危機に対する安全性」「生理的条件の満足」「精神的条件の満足」「生活的要素の満足」「経済的条件の満足」である。
- 問 2. ハウスクリーニングの技術が優秀でも、競合他社との差別化は難しく、また、技術力だけで顧客に選ばれる時代ではないため、顧客との間で質の高いコミュニケーションを築き、信頼関係を創出することが重要である。
- 問 3. 品質管理の目的は、誰が作業を行っても、一定の清掃作業結果を安定して出せるよう環境を構築することである。
- 問 4. リノリウム床材は、耐摩耗性、耐薬品性、耐熱性、耐水性、抗菌性などの性能を有しているが、強アルカリに対しては変色するので注意が必要である。
- 問 5. ハウスクリーニングにおける品質管理で最も重要な要素は、作業従事者の汚れを除去するための技術・技能である。加えて、顧客にとっての快適環境とやすらぎなど、衛生的な環境を守るための気配りと配慮も必要である。
- 問 6. ハウスクリーニング業務とは、住まいの環境衛生管理のサポート業務であり、人間が建物を利用することによって生じる汚れや廃棄物を取り除き、清掃を通じて健康的で快適な住まい環境を提供することである。
- 問 7. 作業の基本は、上から下へ、入り口から奥へなどの作業工程（作業動線）を作成することで、効率良く作業を行うことができる。
- 問 8. セラミックタイルは、天然石の碎石と顔料などを、セメントや樹脂（レジン）などのバインダーで固め、硬化後表面を研ぎ出した石材系材料で、人造大理石とも呼ばれ、製造過程での使用材料によりセメント系とレジン系に分けられる。
- 問 9. 洗剤には用途や目的にあったものがあるが、洗浄効果を高めるために組み合わせるとよい。

- 問 10. ハウスクリーニングにおいては、常に点検作業でチェックを行うことが重要となる。段階別に、現地調査時の事前点検、作業時の作業前点検、作業後点検の大きく 3 つがある。
- 問 11. 住まいで発生する汚れの発生原因は「自然的要因」と「気候的要因」の 2 つに大別される。自然的要因による汚れとしては、建物から発生する浮遊物質による汚れ、カビや衛生害虫等の発生による汚れがある。
- 問 12. 化学雑巾は、髪の毛の 100 分の 1 程度の極細繊維を使用したクロスである
- 問 13. 作業手順書を作成するにあたり、「効率」「安全」「やりやすさ」にポイントを置き作成するとよい。
- 問 14. 「複層ガラス」とは、2 枚のガラスの中間層に乾燥空気を閉じ込め断熱性を高めたもので、遮音効果も向上し、結露が生じにくいなどの効果がある。
- 問 15. 複合フローリングなどの木質系床材は、洗剤など水分の影響でトラブルが発生しやすいため、作業時は極力水分を少なくする必要がある。
- 問 16. 室内環境において厚生労働省が示すホルムアルデヒドの基準値は、 $100 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (= 0.008 ppm) である。
- 問 17. ハウスクリーニングの作業後に、資機材の置き忘れの有無や汚れの落ち具合の良し悪し、資機材の安全性などを確認することが大切である。
- 問 18. コーヒーやお茶による汚れは水溶性物質のため、汚れてから時間の経過に関係なく、洗剤を使用せず水だけで除去可能である。
- 問 19. 界面活性剤は、1 個の分子の中に親水基と親油基がある化学物質で、洗剤の主成分として使用されている。界面活性剤には、表面張力低下作用、浸透・湿潤作用、乳化作用、分散作用、ミセル形成作用などの作用がある。
- 問 20. 事故には不安全な状態（人的原因）、と不安全な行動（物的原因）との複合的な組み合わせによる場合が大部分を占める。

- 問 21. 事故発生による障害程度の割合を説明するのに、一般的にヒヤリ・ハットの法則が用いられる。
- 問 22. カーペットの繊維は、主に天然繊維と化学繊維に大別され、ナイロンは天然繊維の一つである。
- 問 23. 研磨剤および界面活性剤、その他の添加剤から成り、主として研磨の用に供せられるもの（つや出しの用に供せられるものを除く）を床用ワックスという。床用ワックスには、クリーム状（液体）、粉末状、固体状、練り状など様々なものがある。
- 問 24. 「報告する。連携する。相談する。」略して「ハウレンソウ」は、顧客から作業状況などの報告を求められたときや、作業完了時に必ず報告を行う必要がある。
- 問 25. 作業計画は、経験に基づく知恵や知見等を文書化、記録することで情報を共有し、適切な現場管理、作業結果の向上、ひいては顧客の信頼性の向上やリピーターの確保に繋げていくものとして作成する必要がある。
- 問 26. 洗剤には液性と呼ばれる性質があり、「酸性」「中性」「アルカリ性」の大きく3つに分類される。洗剤の液性は pH の値により分けられており、pH9 のものは中性洗剤と呼ばれる。
- 問 27. 情報通信技術 ICT (Information and Communication Technology) や、IoT (Internet of Things) の進歩により、これらを搭載した住宅関連の設備機器や電化製品を支障なく清掃するために、常に知識と技術のアップグレードが不可欠である。
- 問 28. 漂白剤の分類において、次亜塩素酸ナトリウム（次亜塩素酸ソーダ）は、酸化型の酸素系に属し、漂白力に優れる反面、色物に使用できないなどの欠点がある。
- 問 29. サクションポンプは、排水パイプの詰まりなどを除去し、ドレンホースクリーナーともいう。
- 問 30. ハウスクリーニングの業務のおもな流れは順に、見積依頼→訪問・調査→見積→計画書→契約→作業実施→検収→アフターフォローである。
- 問 31. 油汚れや手アカ汚れのようにベタついて付着している状態の汚れ（油脂性物質）は、水や帯電防止剤を含んだクロスを使用し除去する。

- 問 32. VOC（揮発性有機化合物）とは、いくつもの化合物が混在しており、沸点 50℃～250℃のものが大部分である。
- 問 33. 作業前点検においては、汚れの量、汚れ具合、家具等の損傷有無等を確認するほか、資機材の回収忘れや作業で生じたごみ処理についても確認することが重要である。
- 問 34. 水と油は通常混ざらないが、界面活性剤を入れて攪拌すると、油の粒子が小粒子となって液中に分散する。これを界面活性剤の乳化作用と呼ぶ。
- 問 35. 壁紙とは、紙、繊維、プラスチック、無機質材、及びそれらを組み合わせた壁装材をいい、難燃、防水、防汚、防カビ、抗菌などの各種処理を施したものや、あらかじめ接着剤を塗布したものもある。
- 問 36. コロモジラミは、かつてはナンキンムシと呼ばれ、幼虫も成虫も吸血し、繁殖力が高い。最近では海外旅行者の増加に伴い、ホテル等で広がっている。
- 問 37. ウールカーペットの特徴として、アルカリ性洗剤により、黄変・風合いの変化等を起こすことがあるため、アルカリ性洗剤の使用は避けなければならない。
- 問 38. 一般家庭では、一般的に 1 つのコンセントの電気容量は 2000W であり、ポリッシャー（1200W）、および掃除機（700W）を同時に差しても問題はない。
- 問 39. ハウスクリーニングには、対象物件の状態によって「在宅物件のハウスクリーニング」「退去物件でのハウスクリーニング」「新築物件での引き渡し清掃」の大きく 3 つに区分することができる。
- 問 40. セラミックタイルとは、塩化ビニル樹脂を主成分として作られたタイル状の高分子系（プラスチック系）床材で、接着形と置敷き形がある。
- 問 41. 標準作業時間における主体作業時間とは、作業の準備や片付け、朝礼等の打ち合わせ時間のことをいう。
- 問 42. ビニル系床材は、タイル状・シート状などの製品形状があり、ビニル床タイルには、接着形と置敷き形がある。
- 問 43. ワモンゴキブリの特長として、全体は黄褐色で胸部には縦に一对の黒条紋がある。

- 問 44. ハウスクリーニングにおける品質管理は、PDCA サイクルに基づき展開することが効果的である。PDCA サイクルとは、P ((Practice = 練習)、D (Do = 実行)、C (Check = 点検)、A (Action = 行動) の 4 つの工程を円滑に回すことで、作業結果を継続的に改善しながら品質を向上させていくというマネジメント手法である。
- 問 45. 2023 年の第三次産業の業種別労働災害発生状況によると、最も多いのは小売業で、次いで飲食業が第二位、ビルメンテナンス業などの清掃業は、第三位で多く占めている。
- 問 46. アルカリ性洗剤は、油脂系汚れを効果的に分解する特長があり、レンジ周りなど様々な用途に使用される。アルカリ性洗剤に使用される代表的なアルカリ剤としては、エチルアルコールがあげられる。
- 問 47. 顧客の立場に立って行動することが顧客の満足度につながるため、とくに作業指示がない部屋も作業しておくといよい。
- 問 48. 尿石とは、便器の目皿の内部や配管内などで発生しやすい汚れで、尿に含まれる尿素やタンパク質などの成分が微生物によって変質し固着したものである。
- 問 49. 静電気ほこり取りは、摩擦による静電気の力を利用してほこりを取るのが特長である。
- 問 50. 厚生労働省「給排水設備の維持管理に関するガイドライン」によると、災害時の対策として 1 人あたりの飲料水の確保は、5L (リットル) となっている。

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
なお、合否結果は 2025 年 2 月に発表し、本人に通知いたします。

2024 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答
問 1	誤
問 2	正
問 3	正
問 4	正
問 5	正
問 6	正
問 7	誤
問 8	誤
問 9	誤
問 10	正

問題	解答
問 11	誤
問 12	誤
問 13	誤
問 14	正
問 15	正
問 16	誤
問 17	誤
問 18	誤
問 19	正
問 20	誤

問題	解答
問 21	誤
問 22	誤
問 23	誤
問 24	誤
問 25	正
問 26	誤
問 27	正
問 28	誤
問 29	正
問 30	誤

問題	解答
問 31	誤
問 32	正
問 33	誤
問 34	正
問 35	正
問 36	誤
問 37	正
問 38	誤
問 39	正
問 40	誤

問題	解答
問 41	誤
問 42	正
問 43	誤
問 44	誤
問 45	誤
問 46	誤
問 47	誤
問 48	正
問 49	正
問 50	誤